

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 1 部門第 2 区分
 【発行日】 令和 4 年 8 月 17 日(2022.8.17)

【公開番号】 特開 2021-159633(P2021-159633A)
 【公開日】 令和 3 年 10 月 11 日(2021.10.11)
 【年通号数】 公開・登録公報 2021-049
 【出願番号】 特願 2020-67135(P2020-67135)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

10

【手続補正書】

【提出日】 令和 4 年 8 月 8 日(2022.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

駆動手段により可動可能な可動部材と、前記可動部材を可動可能に支持する支持部材とを有し、前記可動部材が移動する可動体装飾部材を備え、前記可動体装飾部材は、演出を実施しない演出待機状態を少なくとも有し、前記可動部材として、演出に関する作動を実施可能な第 1 可動部材と、前記可動部材として、互いに反対方向に移動する第 2 可動部材及び第 3 可動部材と、前記第 1 可動部材又は前記第 2 可動部材又は前記第 3 可動部材を駆動する駆動部材と、を有し、前記駆動部材の駆動により、前記第 1 可動部材が作動し、前記第 2 可動部材及び前記第 3 可動部材が互いに反対方向に移動し、前記演出待機状態では、前記第 1 可動部材と前記第 2 可動部材、又は前記第 1 可動部材と前記第 3 可動部材との少なくとも一部が積層していることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0004

【補正方法】 変更

【補正の内容】

40

【0004】

しかしながら、従来、遊技機は、市場において新機種が断続的に求められており、新機種に取り付けられる遊技装置も改良が求められている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0005

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記問題点に鑑みてなされたものであり、改良された遊技装置を有する遊技

50

機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記の目的を達成するために、本発明は、以下のような遊技機を提供する。

本発明は、

駆動手段により可動可能な可動部材と、前記可動部材を可動可能に支持する支持部材とを有し、前記可動部材が移動する可動体装飾部材を備え、 10

前記可動体装飾部材は、

演出を実施しない演出待機状態を少なくとも有し、

前記可動部材として、演出に関する作動を実施可能な第1可動部材と、

前記可動部材として、互いに反対方向に移動する第2可動部材及び第3可動部材と、

前記第1可動部材又は前記第2可動部材又は前記第3可動部材を駆動する駆動部材と、を有し、

前記駆動部材の駆動により、前記第1可動部材が作動し、前記第2可動部材及び前記第3可動部材が互いに反対方向に移動し、

前記演出待機状態では、前記第1可動部材と前記第2可動部材、又は前記第1可動部材と前記第3可動部材との少なくとも一部が積層していることを特徴とする遊技機。 20

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明によれば、改良された遊技装置を有する遊技機を提供できる。

30

40

50